

令和7年度 小平市立小平第十二小学校 授業改善推進プラン

【第1学年】

	指導方法の課題	具体的な授業改善策	発展的・補足的な指導計画
国語	<p>○読み物教材で、内容を正しく理解させるための指導</p> <p>○自分の考えを語尾まで話す、話を最後まで聞くなど、話し方・聞き方を身に付けさせるための指導</p> <p>○ひらがな（促音、拗音、長音、濁音、半濁音などを含む）やカタカナ・当該学年の漢字などの書き方を身に付けさせるための指導及び個別の支援</p> <p>○経験したことなどを思い出し、簡単な文章を書かせるための指導及び個別の支援</p>	<p>○音読を取り入れることで、<u>目・耳・口の感覚を使って、内容を理解するための素地を作る。</u>段落や場面ごとに大事な言葉を手掛かりにしながら、挿絵なども活用し、読みを深める。また、児童が理解しやすい話し方を工夫する。</p> <p>○<u>文章を正しく理解するために、言葉の意味を理解し語彙を増やしていく。</u>、<u>児童とともに言葉の意味を考えたり調べたりする指導を丁寧に行う。</u></p> <p>○<u>ペアやグループ、全体等様々な形態で話す場面を多く設定し、話すことに自信をもたせる。</u>また、話し方・聞き方を継続的に指導する。</p> <p>○<u>読んだり書いたりする機会を多く設定する。</u>特に、<u>ノートやワークシートなど、書く活動を授業の中で取り入れ、練習を積み重ねる。</u>身に付いていない書き方に関しては、ワークシート等を用い、丁寧に指導する。</p> <p>○<u>視写や、穴埋め形式等で文を書く練習を通し、<u>スモールステップで基本的な文型を身に付けさせる。</u></u></p>	<p>○読書の時間を活用し、様々な文章に触れさせる機会を増やすとともに、読み聞かせも積極的に取り入れる。読書量を増やすことで自ら読み取る力を向上させる。また、音読の宿題を取り入れ、家庭で文章に触れる機会を増やす。</p> <p>○話す時の手助けになる話型や声の大きさ、話の聞き方を掲示し、継続的に練習を積み重ねていく。</p> <p>○字形、書き順を意識させた視写の機会、朝学習や家庭学習を通して繰り返し練習する機会を多く取り入れる。</p> <p>○短作文や日記等に取り組み、気持ちや様子を表す練習を積み重ねていく。</p>
算数	<p>○数の分解・合成を理解させるための指導及び個別の支援</p> <p>○時間の単位や水のかさを理解させるための指導及び個別の支援</p> <p>○加法や減法の意味を理解させるための指導及び個別の支援</p> <p>○計算の技能を生かして文章題を解くための指導及び個別の支援</p> <p>○児童の興味・関心を高める指導</p>	<p>○ブロック操作等、具体物と対応させながら、<u>数の概念が定着していくようにしていく。</u>様々な表記の数の大小を比べたり、<u>絵や図で数を表現したりする活動を充実させ、基本的な数の構成や量感を育てていく。</u>また、学習補助員や講師と連携し、個別指導の時間を確保していく。</p> <p>○<u>実物を使ったり、実際に測ったりする活動を取り入れ、生活の場面で活用できるように感覚をつかませていく。</u></p> <p>○問題文中の「分かっていること」「問われていること」を確認する。また、様々な問題を解くことにより、<u>立式の仕方を理解できるようにする。</u></p> <p>○児童が想像しやすい日常的な場面を設定し、<u>絵や図を利用し、文意を捉えられるようにする。</u></p>	<p>○具体物の操作では、手を動かすだけでなく、丸などの図を描いて表したり、相手に伝わるように自分の言葉で話したりしながら操作できるよう繰り返し指導する。</p> <p>○日常的な生活の中での具体的な場面を設けて計算のイメージをもたせたり、家庭学習を促しながら、計算練習の時間を多くとったりする。</p> <p>○自分の言葉で問題を作り、児童同士で解く活動を取り入れ、文章題への興味・関心を高める。</p> <p>○デジタルコンテンツを活用する。</p>

<p>生活</p>	<p>○身の回りの動植物に対して興味・関心を高めるための指導及び個別の支援</p> <p>○観察カードの絵や文章のかき方を身に付けさせるための指導及び個別の支援</p> <p>○「もっと知りたい」「もっと調べたい」という意欲を喚起する指導</p>	<p>○校庭や地域の自然に触れさせ、周りの様子に気付くような声掛けをし、興味を広げさせる。また、季節の変化にも目を向けさせ、<u>身近な人やものと自分のつながりを感じられるようにする。</u></p> <p>○見たこと、感じたことを絵や言葉で表現する活動を多く取り入れる。</p> <p>○観察カードを互いに紹介したり、学習者用端末を利用して紹介したりすることで、<u>もっと知りたい、調べたいという意欲を高める。</u></p>	<p>○定期的に観察することで、成長の様子を実感させるため、年間を通して自然に多く触れさせる。</p> <p>○観察カードは教室に掲示し、友達の作品がいつでも見られるようにする。</p> <p>○単元に応じた資料を教室に用意したり学習者用端末を活用できるようにしたりして、いつでも児童が調べられるようにする。</p>
<p>音楽</p>	<p>○楽しく音楽に関わり、拍の流れを感じながら、リズムを<u>打ったり歌ったりすることができるようにするための指導</u></p> <p>○曲想に合わせた声の出し方ができるようにするための指導</p> <p>○鍵盤ハーモニカの基礎的な指導</p>	<p>○常時活動で拍に合わせて体を動かす活動を取り入れ、感覚を養う。楽曲に合わせて<u>リズム楽器を演奏したり、拍に合わせて言葉を唱えたりするなど、楽しく音楽に関わることができるようにする。</u></p> <p>○教師のまねっこ遊びで<u>明るい声、暗い声などを体感したり、鳴き声遊びなどで、さまざまな声の出し方を試したりする。曲の感じに合う声を話し合っ</u>て思いを共有し、歌うことができるようにする。</p> <p>○簡単な旋律を繰り返したり友達と聴き合ったりして、<u>息の入れ方やタンギングの感覚を養うことができるようにする。</u></p>	<p>○打楽器を使って<u>リズム創作をするなど、楽しみながらリズム感覚を身に付けさせる。</u></p> <p>○いろいろな歌い方や演奏方法に触れ、自分の思いに合った表現を選んで歌うようにする。</p> <p>○スモールステップで運指や吹き方を習得し、簡単な音楽づくりや他の楽器に合わせて演奏するなど、楽しみ方を広げる。</p>
<p>図工</p>	<p>○課題やめあてを十分に理解させるための指導及び個別の支援</p> <p>○自分の発想を大切にし、自信をもって、さらに意欲的に取り組ませるための指導</p> <p>○切る・折る・貼る・描くなど、技能面の指導及び個別の支援</p>	<p>○児童のイメージが広がるように<u>アイデアを紹介したり作例を提示したりする。</u></p> <p>○友達と感想を伝え合いながら、作品の良さや工夫の面白さなどに気付けるような場面を設ける。</p> <p>○児童のイメージに近づくように、<u>様々な材料を用意して発想を広げさせる。</u></p> <p>○手や体全体の感覚を働かせて製作できる題材・素材を工夫する。</p> <p>○繰り返して課題に取り組ませる中で、<u>はさみやのりの使い方を丁寧に指導し、基礎的な技能を高める。</u></p>	<p>○作品を掲示することにより、鑑賞の場を設け、友達のいいところを認め合い、次の題材の意欲につなげていく。</p> <p>○児童が意欲的に活動できる場の設定や材料の提示をする。</p> <p>○授業以外の時間も活用し、粘り強く学習に取り組めるように、作りたいもののイメージを聞き取り、作り方を一緒に考える。</p>

<p>体育</p>	<p>○運動遊びの楽しさに触れ、意欲的に運動遊びに取り組むことができる指導</p> <p>○様々な動きを身に付けさせるための指導</p> <p>○運動遊びを通して、順番やきまりを守る意識を高めるための指導</p> <p>○振り返り活動を充実させるための指導</p>	<p>○運動の特性を吟味し、<u>全員が楽しめる簡単な運動遊びを精選</u>する。また、得点を競い合ったり、じゃんけん遊びを取り入れたりするなど、<u>より楽しめるようなゲーム形式や遊びの要素を取り入れる</u>ことで、夢中になって運動遊びに取り組めるようにする。</p> <p>○身に付けさせたい動きを明確にし、<u>動きのこつやポイントを学級全体で共有する時間を設けたり、掲示物を作成したりする。</u>その際に、<u>こつを見付け引き出す発問を充実させることで、言語化するよう促す。</u>また、児童一人一人の運動の様子を見取り、苦手な子には課題を軽くして、できることから取り組むことができるよう配慮する。</p> <p>○順番やきまりを守って安全に気持ち良く運動に取り組むことができた児童を大いに称賛し、<u>順番やきまりを守ることの大切さや意義を学級全体に広めるようにする。</u></p> <p>○<u>「何が楽しかったのか」「どんなことができるようになったのか」「どんな工夫ができたのか」</u>など、自己の学習を振り返り言語化できるような発問をし、仲間で共有できるようにする。</p>	<p>○遊び方やもっと楽しくするための工夫について、児童からの意見を取り入れて、工夫を広げられるようにする。</p> <p>○学習の中で共有した技能ポイントを掲示物として可視化し、日常の遊びや他の領域に取り組む際にも見られるようにしておく。</p> <p>○授業の振り返りの際に、自分で運動の行い方について振り返り、改善できるようにする。</p>
<p>道徳</p>	<p>○挨拶などの基本的な生活習慣を身に付けさせる指導</p> <p>○社会生活上のきまりを身に付け、善悪を判断できるようにする指導</p> <p>○自己の生き方を見つめることができるようにするための指導</p>	<p>○「考える」発問を精選・工夫する。</p> <p>○<u>大型テレビ等を活用し、資料提示の仕方を工夫する。</u></p> <p>○<u>ペアやグループ、全体など、様々な形態での話し合い活動等を取り入れ、登場人物の気持ちを様々な角度からより深く考えられるようにする。</u></p> <p>○<u>毎時間の振り返りで、自分自身の考え方や行動について振り返り考えることができるような発問を精選する。</u>また、学習で使ったワークシートをファイリングしていく。</p>	<p>○児童の考えを深めるための補助発問を用意し、道徳的価値に迫れるよう工夫する。</p> <p>○役割演技やペープサート、吹き出し、ワークシートの活用など、多様な学習の仕方を工夫する。</p> <p>○ペアやグループで意見交流する時間を設定する。</p> <p>○児童の振り返りやファイリングしたワークシートを評価・授業改善に生かす。</p>

令和7年度 小平市立小平第十二小学校 授業改善推進プラン

【第2学年】

	指導方法の課題	具体的な授業改善策	発展的・補足的な指導計画
国語	<p>○物語などの内容を正しく読み取り理解させるための指導</p> <p>○話す速さや間、強弱に気を付け、事柄の順序を考えながら話をする指導</p> <p>○短い文章を正しく書かせるための個別の指導及び支援</p> <p>○順序を整理し、簡単な構成を考えて文章を書き、表現する力を付ける指導</p> <p>○大事なことを落とさないように聞く指導</p> <p>○画数の多い漢字、形の似ている漢字を習熟させるための指導</p>	<p>○内容理解のためにサイドラインを引いて大切なところに注目できるように指導する。</p> <p>○中心人物に手紙を書く、挿絵を活用するなどの活動の工夫をする。</p> <p>○場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像させる。</p> <p><u>○音読発表会を行い、物語の誰が、どのように話しているか、場面の設定を理解できるように指導する。</u></p> <p>○順序を表す言葉を意識させ、定着を図る。</p> <p>○話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えられるよう指導する。</p> <p>○助詞「は」「を」「へ」の使い方、促音、拗音、長音などを文章の中で正しく使えるように、ワークシート等を用い、丁寧に指導する。</p> <p>○順序を表す言葉を使いながら、メモから文章を組み立てていく。誰にでも分かりやすいように文の型が書かれたワークシートを活用する。</p> <p>○文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりするよう指導する。</p> <p>○発言者に感想や質問を伝える時間を設け、聞く姿勢やポイントを理解させていく。</p> <p>○新出漢字は、書き順や読みを一字一字丁寧に確認する。空書きやなぞり書きを繰り返し行わせる。新出漢字を用いた熟語や文を考えさせる。</p>	<p>○正しい読みができる練習として、指示語が指す言葉探し等の問題に取り組みせる。</p> <p>○楽しんで読書をするために、読み聞かせを定期的に行う。</p> <p>○教科書教材は内容や文章のまとまり、会話文や速さや間、強弱に気を付けさせ、読ませる。</p> <p>○音読の宿題に、毎日取り組ませる。</p> <p>○感想や質問のやりとりを通して、学びを深める。</p> <p>○日記やなりきり作文等の宿題に取り組みせ、簡単な構成を考えて文章を書く機会を設定する。<u>また、言葉の使い方に気を付けて書く練習を積み重ねていく。</u></p> <p>○説明文の学習から、順序を表す言葉を見付ける練習を行う。</p> <p><u>○話を聞く時に必要な情報を適切に聞き取り、メモを取れるように指導する。</u></p> <p>○毎日漢字学習・練習を取り入れる。</p>

<p>算数</p>	<p>○苦手とする児童が多い単元「長さ」、「時こくと時間」の指導</p> <p>○かけ算九九の定着の徹底</p> <p>○問題文を正しく読み取り、立式する力を付けるための指導</p> <p>○思考力・表現力・判断力を高めるための指導</p>	<p>○<u>苦手とする単元では、具体的な操作や計算方法を繰り返し行わせる。習熟度別指導を生かしながら、確認のテストをするようにする。また、具体物や数カードを活用し指導を行う。</u></p> <p>○九九カードや九九検定表を活用し、意欲的に学習できるようにする。</p> <p>○問題を把握するために、「求めたいこと」「分かっていること」を整理し、黒板に色分けなどをして示すようにする。児童も教科書等の問題文にラインを引く習慣を付ける。</p> <p>○本時の内容と既習の内容を比較させ、児童自ら課題を見いだすことができるようにする。</p> <p>○<u>自力解決や集団検討の場面では、簡単な図や式、言葉を用いて、自分の考えを分かりやすくまとめ、互いに発表し合う機会を多く設ける。</u></p>	<p>○習熟が十分ではない児童には、特に具体物の操作を繰り返し行わせる。</p> <p>○生活の中で、時計や長さを意識させて指導を行う。</p> <p>○十二小タイムや家庭学習を活用し、かけ算九九の定着や基礎的な四則演算の定着を図る。</p> <p>○九九テストを実施し、個々の定着状況を細やかに確認していく。</p> <p>○習熟度が十分ではない児童には、教師の助言やヒントカードを提示して自力解決ができるように支援する。</p>
<p>生活</p>	<p>○身の回りの人々や動植物に興味・関心をもたせ意欲を高める指導</p> <p>○学習カードの絵や文章の書き方を身に付けさせるための指導及び個別の支援</p> <p>○これからの自分の生活や生き方をより良くしようとする態度の育成</p>	<p>○<u>生き物の飼育や植物の栽培を通して育てる喜びを味わい、季節ごとに変化する動植物にも目を向けさせる。また自分で調べる機会を増やす。</u></p> <p>○児童に身近な教材や興味・関心が高まる教材を工夫して取り入れる。</p> <p>○町たんけんを通して、身近な人々や自然と関わり、<u>気付いたことを言葉や絵で表現させる。</u></p> <p>○国語科の単元「かんさつ名人になろう」での学習を活かし、より詳しく観察する視点を確認しながら活動を進める。</p> <p>○<u>自分の成長を振り返り、これからの成長への願いをもって意欲的に生活できるようにする。</u></p>	<p>○学習者用端末やポケット図鑑を活用した調べ学習を取り入れることにより、主体的に情報を得たり興味関心を広げたりできるようにする。</p> <p>○発見や気づき、感じたことを表現した学習カード・模造紙などは教室内に掲示し、互いに見合い、情報を共有できるようにする。</p> <p>○学習者用端末で写真に撮り、拡大して見ることで、細かい部分まで観察する力を付ける。また、継続して記録し、成長や変化に気付くことができるようにする。</p>

<p>音楽</p>	<p>○楽しく音楽に関わり、音楽表現を楽しむために必要な技能を身に付ける指導</p> <p>○基礎的能力を身に付けるための指導</p>	<p>○歌詞やリズムが表す情景を考えながら聴き、感じ取ったことを身振りや絵で表すなど、思いを視覚化したり、<u>言語化したり</u>する。いろいろな歌い方や演奏方法に触れ、自分の思いに合った表現に近づけるようにする。</p> <p>○常時活動で歌唱、<u>リズムや旋律などの音楽遊び</u>や体を使った音楽遊びを取り入れ、楽しみながら基礎的な能力を身に付けさせる。</p>	<p>○児童が主体的に学び、さらに活動意欲を高めるために、ミニ発表会を随時行ったり、学習者用端末に録画したものを見合ったりする機会をもつ。</p> <p>○拍、リズム、速さ、強さなど、<u>様々なバリエーションに対して思考を働かせながら活動し、基礎的な能力を高める。</u></p>
<p>図工</p>	<p>○絵を描いたり工作をしたりする活動への意欲を高め、個に応じた表現力を付ける指導</p> <p>○切る・折る・貼る・描くなど、技能面の指導及び個別の支援</p> <p>○自らの表現に対して自信を持って取り組むことができるように支援する指導</p>	<p>○児童の作品を適切な場面で紹介し、<u>お互いの感想を伝え合う場面</u>を設け、<u>表現の良さを感じ、高め合うようにする。</u></p> <p>○<u>視覚的に分かりやすく手順を提示して見通しをもたせる。</u></p> <p>○切る・貼る・折るなどの基本動作が確実に身に付くように繰り返し指導する。</p> <p>○作品のイメージにつながるような意見を学級で出し合ったり、参考例を示したりして、<u>表現の選択肢を与えること</u>で見通しをもたせる。</p> <p>○自信につながるような言葉掛けをする。</p>	<p>○より高い技能を知るため、具体物や作品例を提示するようにする。</p> <p>○互いの良さを認め合えるような鑑賞の場を設けたり、掲示の仕方を工夫したりする。</p> <p>○実物投影機等のICT機器を活用し、基本動作を視覚的に確認できるようにする。</p> <p>○多角的に作品を捉え、様々な感じ方があることを示す。</p> <p>○自分が作りたいものを作ればよいこと、自由な発想が大事であることを伝え、自らの表現を認められるようにする。</p>
<p>体育</p>	<p>○様々な運動遊びを通して、基本的な動きを身に付け、体力向上につながる指導</p> <p>○運動遊びの行い方を理解したり、工夫したりするための指導</p> <p>○考えたことを他者に伝える指導</p> <p>○考えたことを言葉で表現する指導</p>	<p>○多様な動きを取り入れ、経験させることによって、基本的な動きを身に付けさせる。</p> <p>○運動遊びの行い方を理解しやすくするため、絵図や動画を用いて説明したり、実際に動いて説明したりするようにする。</p> <p>○運動遊びの行い方を工夫することができるよう、工夫する視点を与えたり、上手に工夫している友達の動きを紹介したりする。</p> <p>○友達のよい動きを見付ける時間を確保するとともに、見付けたよい動きは学級全体で共有したり、<u>共有したことをやってみる時間を設けたりする。</u></p> <p>○<u>学習カードを使用して分かったことを表</u></p>	<p>○準備運動に、主運動につながる動きや、感覚づくりにつながる動きを取り入れていく。</p> <p>○学習者用端末を活用し、工夫した動きを撮影したり、大型テレビに映して共有したりする。</p> <p>○ペアやグループで運動したり、互いの動きを見合ったりする時間を設ける。</p> <p>○<u>1枚の学習カードで単元の見通し</u></p>

		<u>現する。</u>	<u>がもてる学習カードを使用し、振り返りを行えるようにする。</u>
道徳	○挨拶などの基本的な生活習慣を身に付けるための指導 ○社会生活のきまりを身に付け、善悪を判断できるようにするための指導	○教材の世界に入りこめるよう教材提示の仕方を工夫する。 ○ねらいに迫るための発問を精選する。 ○登場人物の心の変化が分かりやすいように板書の構成を工夫する。 ○ <u>ペアやグループ、全体など多様な形態で交流を行い、相手の意見と比較しながら自分の意見をまとめる。</u> ○毎時間、振り返りの視点を明確にするとともに、学習で使ったワークシートをファイリングしていく。	○学習者用端末を活用した教材提示や紙芝居、ペープサート等を用いた教材提示を行う。 ○ねらいに迫るための補助発問や切り返しの発問をする。 ○心情グラフやメーターを活用し、登場人物の心の変化を分かりやすく示す。 ○児童の振り返りやファイリングしたワークシートを評価・授業改善に生かす。

【第3学年】

	指導方法の課題	具体的な授業改善策	発展的・補足的な指導計画
国語	<p>○読解力、表現力を身に付けるための指導</p> <p>○伝えたいことを分かりやすく書く力を付けるための指導</p> <p>○要点を捉えて話す力と聞く力を付け活用させるための指導</p> <p>○語彙を増やすための指導</p> <p>○新出漢字の定着を図るための指導</p>	<p>○自力解決の時間をとり、自分で読み深めていく習慣を付ける。</p> <p>○必要に応じてサイドラインを引いたり、キーワードを囲んだりするよう指導する。</p> <p>○図書の日や読書旬間を使って、十二小推薦図書をはじめ、いろいろな本を読むよう声かけをし、自ら読み取る力を付けさせる。</p> <p>○日記などの文章を書く活動を増やすとともに、最後まで確実に取り組ませる。感情を表す言葉や様子を表す言葉を学ばせ、文章の中で使えるようにさせる。</p> <p>○<u>文末の書き方、句読点の打ち方、段落の付け方など基本的な技能を身に付けさせる。</u></p> <p>○<u>話す活動を多く取り入れる。聞いている人を意識させ、具体的な話ができるように助言する。</u>また、音読を継続的に取り入れ、適切な声で教材文を読む時間を確保する。</p> <p>○<u>辞書での熟語探しや、語句の意味調べなど、辞書に触れる機会を増やす。</u></p> <p>○漢字は繰り返し書いて習得させる。</p> <p>○漢字テストで間違えた問題は直させ、正しい文字を習得させるようにする。</p> <p>○使われている熟語を探す活動をさせ、日常で使用できるよう促す。</p>	<p>○音読カードを活用した音読の宿題を毎日習慣付ける。</p> <p>○授業だけでなく様々な場面や家庭学習を活用して、言葉や文で表現させる機会を増やし、個に応じた言語指導や作文指導をする。</p> <p>○授業の振り返りや行事の感想など様々な場面で書く時間を確保する。</p> <p>○週末には作文の宿題を出し、書く習慣を付けさせる。</p> <p>○辞書引きなどを活用したゲームを授業の中で取り入れ、楽しみながら学習できるようにする。</p> <p>○毎日ドリルを活用した宿題を出し、家庭と協力して漢字学習に取り組めるようにする。</p>
社会	<p>○一人一人が興味や関心をもって取り組ませる指導</p> <p>○知識や技能（地図の見方や資料の読み取りなど）を獲得させるための指導</p> <p>○学習を日常生活と関係付けて考えさせる指導</p>	<p>○児童が学習内容を身近に感じるよう、生活に関連する具体物等を用いて指導の工夫をする。</p> <p>○<u>学習者用端末を活用し、写真や地図等の視覚的教材を用いて、学習に取り組むことができるよう工夫する。</u></p> <p>○日常生活のことから学習を導入し、自ら学ぼうとする意欲を高める。</p> <p>○地域での体験的な活動や見学を積極的にを行い、学びを深められるよう工夫する。</p>	<p>○具体的な資料（地図や写真）を活用する機会を増やす。</p> <p>○地図記号クイズを使って継続的に活用し習得を図る。</p> <p>○学習したことと日常生活を関係付けていき、意欲を高める。</p> <p>○学習したことをポスターや新聞等で表現する力を付けさせる。</p>

<p>算数</p>	<p>○わり算の計算方法を定着させるための指導</p> <p>○「時間」の概念や時間の和を求める問題を理解させる指導</p> <p>○円と球についての理解やコンパスで円を正確に描くための指導及び支援</p> <p>○根拠をもって立式できるようにする指導</p> <p>○学習内容を確実に定着させるための個別指導</p>	<p>○授業では<u>スキルノートやプリントを活用し、繰り返し学習</u>させることにより、計算力の定着、向上に努める。</p> <p>○時計や球の模型などの具体物を用いることにより、児童にとって分かりやすい授業に努める。</p> <p>○問題文から場面を具体物や図で表し、立式できるように支援する。また、<u>立式の根拠を自分の言葉で説明させる時間を</u>設ける。</p> <p>○習熟度別学習を生かし、個に応じた指導を行う。また、簡単な図や計算、言葉を用いて、自分の考えを分かりやすくまとめる機会を多く設ける。</p> <p>○ペア学習やグループ学習など、考えを伝え合う機会を設ける。</p>	<p>○視覚的教材を活用し、分かりやすい授業を行うとともに、デジタルドリルの活用を通して反復練習に取り組み、基礎の定着に努める。</p> <p>○毎日の家庭学習にデジタルドリルを活用し、学習したことをその日のうちに復習し、定着を図る。</p> <p>○十二小タイムを活用し、2年生までの学習内容の定着および基礎的な四則演算の定着を図る。</p>
<p>理科</p>	<p>○問題を見いだすための指導</p> <p>○問題解決能力の育成</p>	<p>○<u>単元の導入では、共通体験を行い、自然の事物・事象への気付きから問題を設定する。</u></p> <p>○昆虫の飼育や<u>植物を育てる体験</u>を通し、興味関心を高め、問題設定へとつなげる。</p> <p>○問題解決学習の過程を大切にし、予想や考察の場面を丁寧に指導し、思考力・判断力・表現力の育成を図る。</p>	<p>○問題把握ができない子には、共通体験でのことや生活でのことを想起させる。</p> <p>○予想は、生活経験・既習内容・共通体験等から根拠を考えさせる。</p> <p>○考察の視点や話型を明確にし、取り組みやすいようにする。</p>
<p>音楽</p>	<p>○すすんで音楽に関わり、知識・技能を身に付け、範唱や範奏または互いの音を聴いて歌唱や演奏する力を付ける指導</p> <p>○基礎的能力を高めるための指導</p>	<p>○歌唱、器楽共に、学習者用端末の録音機能の活用や、ペア練習やグループ練習を通して、自分の音を聴く意識をもたせ、模範演奏の音色と比較する力を付ける。</p> <p>○<u>少人数でのグループ活動を取り入れ、感じ取った曲想を友達と言語化し、伝え合う活動</u>を通し、思いをもって音楽を聴いたり演奏したりできるようにする。</p> <p>○常時活動で歌唱、<u>リズムや旋律</u>などの音楽遊びを取り入れ、楽しみながら基礎的な能力を高める。</p>	<p>○児童が主体的に学び、技能に合わせて練習ができるようにするため、難易度に幅をもたせた教材を開発する。</p> <p>○ICT機器を活用し、自分の演奏を録画・録音し演奏の課題を見付け、それを解決していけるようにする。</p> <p>○階名や休符、音符についても興味・関心をもてるように、クイズ形式やフラッシュカード等の活用など活動内容を充実させる。</p>

<p>図工</p>	<p>○意欲的に、自由な表現をし、粘り強く最後まで活動させるための指導</p> <p>○課題を捉えて、表現させるための指導及び個別の支援</p>	<p>○児童のイメージが広がりやすくなるような声かけや、作品例を提示する。</p> <p>○一人一人に作品の良さや課題を話し、意欲を高めていくようにする。</p> <p>○<u>友達同士での教え合いの姿を称賛し、分らないところを児童同士で補えるように育てていく。</u></p>	<p>○より高い技能を知るため、作品例や友達の作品を提示する。</p> <p>○作品を掲示することにより、鑑賞の場を設ける。</p> <p>○個別学習が必要な児童は、授業以外の時間を活用する。</p> <p>○友達とお互いの作品を鑑賞し合う際、見てほしいポイントを伝え、自分もやってみたい工夫などを取り入れられるようにする。</p>
<p>体育</p>	<p>○運動の楽しさや喜びを味わわせる指導</p> <p>○運動内容に合った「めあて」を意識して、話し合いをもとに協力しながら学習していく力を身に付けさせる指導</p>	<p>○<u>安全上のきまりを徹底し、運動を行う。</u>また、<u>まずはやってみることで運動の特性に触れることができるようにする。</u></p> <p>○毎時間のめあてを確認し、課題をもって取り組ませる。また、授業の終末では本時の振り返りを取り入れる。動きのポイントを明確にし、全体で共有していく。</p> <p>○グループで取り組む活動では、チームタイムを設け、話し合いをさせる。その際、話し合う視点について伝える。</p>	<p>○みんなが楽しめるような規則を工夫できるようにしたり、課題別に取り組める場を用意したりして個々の力に応じて取り組めるようにする。</p> <p>○動きが段階的になるように、スモールステップでレベルを上げていく。</p> <p>○児童同士で学び合う場を取り入れ、能力が違って、それぞれの立場で満足感が味わえるようにする。</p>
<p>道徳</p>	<p>○集団や社会のきまりを守り、身近な人々と協力し、助け合う態度を身に付ける指導</p>	<p>○ねらいに的確にせまるための発問を工夫する。</p> <p>○児童が自分を振り返る時間や、<u>意見交流する時間</u>を確保する。</p> <p>○児童が<u>安心して意見</u>を発表できる雰囲気を整えていく。</p>	<p>○授業で使ったワークシートなどは、ファイリングして振り返ることができるようにしていく。</p> <p>○板書を工夫したり、ICT 機器を活用したりしながら、登場人物の葛藤場面や自分事として考える活動を行いやすくする。</p>

令和7年度 小平市立小平第十二小学校 授業改善推進プラン

【第4学年】

	指導方法の課題	具体的な授業改善策	発展的・補足的な指導計画
国語	<p>○読解力、表現力を高める指導</p> <p>○「書く」ための基礎・基本となる力を身に付けさせる指導</p> <p>○漢字や言葉の学習では、言葉の仕組みや活用方法を取り上げ、辞書を使い、言葉に対して慣れ親しませる指導</p> <p>○話題に沿った話す力と、その内容を理解しようとする聞く力を身に付けさせる指導</p>	<p>○国語への意欲を高めるための手立てをする。考えさせる時間を確保し、達成感などを味わえるようにする。</p> <p><u>○説明文・物語文の学習における音読の機会を増やすことで、流暢に音読ができることを目指す。</u></p> <p>○「書く」とときには、言いたいことを明確化し、文の組み立て、構成など基本的なことを毎回指導していく。「指示語」や「接続後」の役割を理解し、文の組み立て方や構成も意識しながら、話題に沿った内容で書く力を育てる。</p> <p>○自分の体験や知識を基に文章を書けるように助言する。</p> <p>○ドリルや教科書を活用し、日常的に言葉の仕組みや学習に触れていく。</p> <p>○漢字の10問小テストを定期的に行う。</p> <p>○新しい單元ごとに、分からない語句を中心に、国語辞典を使って意味を調べることで、語彙力を付けていく。</p> <p><u>○発言や話し合い活動をする際に、ただ自分の意見を言うだけでなく、その根拠や理由も添えて話す力を付ける。また、相手の意見を聞きながら自分の考えを再構築する力を身に付ける。</u></p>	<p>○読書マラソン、図書の時間を活用して、幅広いジャンルの読書の推進を図る。</p> <p>○家庭学習では、授業と連携するため、継続的に音読に取り組み、日常の授業との関連性を図る。授業では、様々な方法で一人一人の音読の力を高める。</p> <p>○自分の思いや考えが相手に伝わるように、書く内容の文章構成を行い、語彙を豊かに表現する力を高めていく。</p> <p>○文の内容を、自分の言葉でまとめる練習を繰り返し行うことで、要点をおさえた要約が書けるようにする。</p> <p>○家庭学習で、継続的に漢字練習を徹底して練習する。分からない言葉は国語辞典で調べる。漢字テストの点数が9割未満の場合には再テストを行い、漢字の定着を図る。</p> <p>○話し合いでは、聞くだけでなく質問をしたり、評価をしたりして、互いの良さを引き出し合いながら高めていく。</p> <p>○新聞やニュース等から身近な問題を取り上げ、社会科の内容とつなげて興味関心を高めていく。</p> <p>○調べたい課題に対して、<u>教師が示す本やインターネットを活用することで焦点化し、問題解決の力を高めていく。</u></p> <p>○各単元のまとめをノート、Google スライドなどに書かせ、<u>まとめ学習を充実させる。</u></p>
社会	<p>○課題を明確にし、指導内容と児童の日常生活とを関連付けた指導</p> <p>○表やグラフなどの資料を正しく読み取り、読み取ったことを活用して考えたりまとめたりする力を付けさせる指導</p>	<p>○各単元の導入で、児童から挙げられた疑問を集約し、<u>学習課題を設定する。見通しをもって学習に取り組みせ、学んだことを生活と結び付けて考えられるよう指導していく。</u></p> <p>○個人で表やグラフ、資料を読み取る時間を確保する。その後、ペアやグループ活動を取り入れ、まとめで必ず活用させるように指導する。</p>	<p>○新聞やニュース等から身近な問題を取り上げ、社会科の内容とつなげて興味関心を高めていく。</p> <p>○調べたい課題に対して、<u>教師が示す本やインターネットを活用することで焦点化し、問題解決の力を高めていく。</u></p> <p>○各単元のまとめをノート、Google スライドなどに書かせ、<u>まとめ学習を充実させる。</u></p>

	<p>○興味・関心を高め、意欲の向上を図るための指導</p> <p>○都道府県の位置と名称を、漢字で書けるように指導する。</p>	<p>○大型テレビや学習者用端末などICT機器を使い、興味・関心をもてる教材を導入で活用し、主体的に学ぶ姿勢を育てる。</p> <p>○<u>国語の学習と関連させたり、都道府県テストを定期的に行ったりして、全員合格を目指す。</u></p>	<p>○年間を通じ地図帳を活用し、地図に親しむことができるようにする。</p>
算数	<p>○児童の理解度の差に応じた指導（全単元）</p> <p>○かけ算やわり算などの計算力や文章題を解く力を伸ばすための指導及び個別の支援</p> <p>○計算の仕方や答えの求め方を、自分の言葉で説明する力を付けるための指導</p> <p>○分度器や三角定規などの読み取りや操作の仕方を身に付けるための指導及び個別の支援</p> <p>○単位の換算や分数の目盛りを正確に読むための指導</p>	<p>○習熟度別のグループによって、取り組む課題を精選する。全てのグループで自力解決の時間を取り、その上で友達と考えを交流させる。</p> <p>○スキルやプリントを活用し、計算問題の反復練習を行う。<u>文章題についてはポイントとなる言葉や数にアンダーラインなどを引かせ、何を問われているかを明確にする。</u></p> <p>○線分図や式、言葉を用いて自分の考えを文章にまとめ、発表し合う活動を多く取り入れる。<u>また、面積を求める学習では、公式を暗記するだけでなく、その公式を導きだすための過程を理解させる。</u></p> <p>○分度器や三角定規などの道具を使う学習活動を取り入れ、使い方の習熟を図る。</p> <p>○知識だけでなく、日常の場面と関連付けて応用する力を身に付けさせる。</p>	<p>○教科書問題が終わった児童には、発展的な学習内容のプリントや学習者用端末の学習ソフトを用い、対応する領域に取り組ませる。</p> <p>○既習の学習内容が定着していない児童には、個別の課題に取り組ませる。</p> <p>○授業の他に十二小タイムや朝学習、家庭学習を活用してかけ算九九の定着や基礎的な四則演算の定着を図る。</p> <p>○デジタル教科書や学習者用端末に入っているソフトを活用し、視覚的に分かりやすい工夫を行ったり、反復練習をさせたりする。</p> <p>○デジタル教科書を用いて、分度器の使い方や、角度の概念を理解させる。</p>
理科	<p>○理科への関心を高め、すすんで観察や実験に取り組む良さを生かし、問題と結果を関連付け、自分の言葉や表現でまとめることを身に付けさせる指導</p> <p>○生活経験をもとに予想し、自分の考えを積極的に発信する力を身に付けさせる指導</p>	<p>○観察や実験結果から考察し、自らの考えをもち話し合いを通して内容を共有していく。<u>また、調べた結果を、言葉とともに自分で図や表やグラフなど適切な方法を選択して表現させる。</u></p> <p>○単元のまとめでは、プレテストやデジタルドリルを活用しテスト形式（問題文）に慣れ、知識を正しい言葉で表現できるよう復習していく。</p> <p>○<u>積極的に発言できる児童を認めつつ、少数意見でも自分の考えをもてる児童を認め、予想が結果と違うことは間違いではないということや、多様な考えが出ることの大切さを学習活動の中で伝えていく。</u></p>	<p>○身近な事象（生活経験・新聞記事・ニュース等）を取り入れながら学習と結びつけていく。また、実験を通して物事の仕組みを視覚的、体験的に理解できるようにする。</p> <p>○<u>より抽象的な学習では、デジタルコンテンツなどのICT機器を活用し、知識を深めたり、広げたりできるようにする。</u></p> <p>○身に付けた用語を活用しながら、自分の考えを話したり、文で書いたり、ICT機器を活用して発表したりする。</p>

<p>音楽</p>	<p>○すすんで音楽に関わり、知識・技能を身に付け、互いの音を聴いて歌唱や演奏する力を付けさせる指導</p> <p>○基礎的能力を高めるための指導</p>	<p>○歌唱、器楽共に、<u>自分の音や周りの音、また、伴奏の音を聴く意識をもち、歌ったり、演奏したりできるようにしていく。</u>また、<u>児童が自らの歌唱や演奏を振り返る場を設定し、次の学習に生かしていけるようにする。</u></p> <p>○ペアやグループ活動を取り入れ、児童が<u>自らの考えを言語化し、友達と伝え合う活動を通して、思いや意図をもって演奏できるようにする。</u></p> <p>○常時活動で歌唱、階名、リズム等の音楽遊びとを取り入れ、<u>友達と楽しみながら基礎的な能力を高める。</u></p>	<p>○児童が主体的に学び、発達段階に合った知識・技能を習得できるようにするため、難易度に幅をもたせた教材を開発する。</p> <p>○ICT機器を活用し、歌唱や演奏を録画・録音して聴くことで児童が課題を見つけ、既習事項等を使って解決していけるようにする。</p> <p>○ペアやグループ活動を取り入れ、児童同士で教え合う場を設定し、技術を高めていけるようにする。また、友達と伝え合う活動を通して、思いや意図をもって演奏したりできるようにする。</p> <p>○歌唱や階名、リズム等に興味・関心をもてるように活動内容を充実させる。また、具体物やフラッシュカード等を使用し、基礎基本を定着させる。</p>
<p>図工</p>	<p>○絵や工作の表現にすすんで楽しく取り組み、互いの良さを自分の作品に取り入れながら活動できるように、発達段階に応じた表現力を身に付けさせる指導</p> <p>○作品の進み具合の個人差に応じた指導</p> <p>○集中して取り組むことができるようにさせる個別の指導</p> <p>○表したいことのイメージが浮ぶまでに時間がかかる児童に対する指導</p>	<p>○材料から着想を得たり、活動する場所にある材料を工夫したりするなど、児童がいろいろ試みる中で発想が広がるような場を設定する。</p> <p>○基礎的な技能は定着するまで繰り返し指導していく。</p> <p>○<u>グループで協力し合うなど、児童が作り方や仕組みを自分から見付けに行く機会を設けるようにする。</u></p> <p>○学習予定の板書などで、<u>学習の見通しを持たせるようにする。</u></p> <p>○造形遊びで道具や材料、場所、行為などからイメージを広げて活動できる時間を設ける。</p>	<p>○作品の良さや違いに気付くことができるように、定期的に作品を掲示するなど、鑑賞の場を設ける。</p> <p>○<u>手が止まっている児童に対しては、今、何を考えているかを聞きだし、自分なりのイメージが持てるように支援する。</u></p> <p>○自信のなさや失敗に対する恐怖心をなくし、作ることの楽しさを感じることができる題材を工夫する。</p>
<p>体育</p>	<p>○学習の「めあて」、<u>「まとめ」</u>が明確な指導</p> <p>○苦手意識のある児童も意欲をもって取り組ませる指導</p>	<p>○掲示物やロイロノートの思考ツール等を活用し、一人一人がめあてをもって学習ができる環境を整えていく。<u>めあてに対して、振り返りをさせ、できるようになったことを実感させ、次時以降の課題も明確にさせる。</u></p> <p>○一人一人の実態を把握し、つまずきがどこなのかを明確にし、それに対応した手だてをとる。ICT資料を活用し、ゴールイメ</p>	<p>○常に学習のめあてを意識させ、スモールステップの達成感を味わわせる。次時へのめあてを立てさせる。</p> <p>○スモールステップの指導を行う。</p>

	<p>○運動の特性を味わわせる指導</p> <p>○友達同士での言葉掛けや励まし、教え合いなどが十分に行える指導</p> <p>○各領域において、児童自らが思考・判断しながら学習を進めるための指導</p>	<p>ージをもたせる。</p> <p>○運動領域の特性を教師が理解し、運動の楽しさを味わわせる。</p> <p>○教え合い活動ができるように教師側から技能のポイントを明確にして、児童が理解できるようにする。</p> <p>○主体的・対話的な活動を行わせるために、学習カードのコメントを紹介したり、よい言葉掛けをした児童を称賛したりするなど、具体的な例を挙げて個々の活動に生かさせる。</p>	<p>○運動旬間と連動させて積極的に取り組めるように声掛け、指導する。</p> <p>○友達と協力する楽しさや運動ができるようになる楽しさを味わうことができる指導を行う。</p> <p>○休み時間にもその領域の遊びを取り入れ、運動を日常化させていく。</p>
<p>道徳</p>	<p>○集団や社会のきまりを守り、身近な人々と協力し、助け合う活動を通して道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を育てる指導</p>	<p>○教材提示を工夫し、児童が教材の世界に浸れるようにする。</p> <p>○ねらいに的確に迫るための発問を吟味する。</p> <p>○ペアやグループなど、児童が交流し合う時間を通して、様々な考え方や捉え方があることを知るとともに、自分を振り返る時間を通して、自己を改めて見つめ直す時間を確保する。</p> <p><u>○役割演技やロールプレイを通じて、多面的多角的に考える経験を増やす。その上で他者の立場に立って考える力を養う。</u></p>	<p>○話し合い活動、役割演技、ワークシートの活用など、多様な学習の仕方を工夫していく。</p> <p><u>○心の変化や他者の考えをより視覚的に分かりやすいように板書を工夫する。</u></p> <p>○授業で使ったワークシートを道徳ファイルに綴じ、自己の変容や成長を感じられるようにしていく。</p>

【第5学年】

	指導方法の課題	具体的な授業改善策	発展的・補足的な指導計画
国語	<p>○新出漢字や言語事項の定着を図るための指導</p> <p>○「読む」ための基礎・基本となる力を身に付けさせる指導</p> <p>○根拠を明確にしながら、友達と互いの考えを話し合い、比較しながら自分の考えをまとめる指導</p> <p>○目的や相手を意識し、要点を整理して伝えたり、相手の話の要旨や根拠を正確に聞き取ったりする指導</p>	<p>○新出漢字や熟語、短文を読む時間を設定し、漢字に親しむ時間を設ける。</p> <p>○言葉のしくみや活用方法を取り上げたり、学習者用端末や辞書を使ったりして言葉に対して慣れ親しませる時間を設ける。</p> <p>○物語、説明文の指導において、<u>内容理解だけに偏重するのではなく、文章の構造、語句と語句のつながりなども意識して指導していく。</u></p> <p>○<u>図表やマッピング等を活用して、情報を整理し、自分の考えをもつ力が高まるよう指導していく。</u></p> <p>○<u>自分と他者の意見を、根拠や理由に注目して交流させ、異なる意見を自分の考えに生かす指導をする。</u></p> <p>○<u>考えの変化を記録させたり、学習の振り返りを充実させたりして、自分の考えを広げたり深めたりする活動を取り入れる。</u></p> <p>○<u>自分の考えをメモ等で整理し、要点を短く明確にまとめ、相手を意識して話せるよう指導していく。</u></p> <p>○発表を聞く際の観点を示し、聞いた内容をもとに質問や意見を述べる活動を取り入れる。</p>	<p>○家庭学習において、毎日の漢字学習を徹底させ、ミニテストを行うなどして定着を図る。</p> <p>○季節ごとにその季節の良さを表す活動を行い、語彙を増やし言語感覚を養う指導を行う。</p> <p>○図書の時間を活用し、十二小推薦図書を活用した読書活動を通して読みの力を向上させる指導を行う。</p> <p>○学習者用端末を使い、必要な情報を取り出し、自分の考えをまとめるようにする。</p> <p>○意見交流の目的を明確にし、交流→再考→発表の流れで指導を行う。</p> <p>○ペアやグループでの意見交換を土台に、それぞれに役割をもたせた話し合い活動を行う。</p>
社会	<p>○導入場面を工夫し、児童が社会的事象に対し関心を持ち、主体的に取り組めるようにするための指導</p> <p>○指導内容と児童の生活とを関連付けた指導</p> <p>○表やグラフなどの資料を正しく読み取り、読み取ったことを活用して考えたりまとめたりする力を付けるための指導</p>	<p>○<u>児童自ら問いや学習問題を立てられるよう、資料の精選を行い、導入場面で提示する。</u></p> <p>○正しい知識を身に付けるとともに、産業等と児童の生活と結び付けられるよう指導していく。</p> <p>○<u>表やグラフ、資料の読み取り方を確認し、読み取ったことと自分の経験や知識を結び付け考える力やまとめる力が高まるように指導していく。また、児童に資料を選</u></p>	<p>○新聞やニュース、身近な問題を取り上げ、考えたり社会科の内容とつなげたりするなど、興味・関心を高めていく。</p> <p>○学習者用端末を使い、事前に調べ学習をしたり、関連動画を見たりするなど反転学習をすすめていく。</p> <p>○考えを深めたり、まとめたりする際には、必要に応じて資料集や学習者用端末を活用させ、必要な情報を集めていく。</p>

		<p><u>扱させ、児童の実態に合わせて学習を進められるようにする。</u></p>	
算数	<p>○基礎基本的な四則演算・作図等を身に付けさせる指導</p> <p>○数学的な見方・考え方を働かせながら課題解決できるようにするための指導</p>	<p>○授業や十二小タイム、家庭学習等でスキルやプリントを活用し、繰り返し計算や作図練習に取り組みさせる。</p> <p>○十進位取り表を活用し、数の仕組みを理解させる。</p> <p>○三角定規・コンパス・分度器等を実際に使いながら長さや角度を測ったり、長さを測り取ったりする場面を意図的に作る。</p> <p>○課題を解決するために、児童に見通しをもたせながら自力解決し、発表・検討をさせ、思考力・判断力・表現力を育てる。</p> <p>○図や式、言葉を行き来し、根拠を明確にしながらか自分の考えを書くように指導する。</p> <p>○意図的な対話的学びを取り入れ、多様な考えを受け入れながら、自らの考えを深められるようにする。</p> <p>○「割合」や「単位量あたりの大きさ」の指導では、数直線やマス図を活用し、視覚的に数量関係が理解できるような指導をする。</p>	<p>○十二小タイムや家庭学習を活用して基礎的な四則演算の定着を継続的に図る。</p> <p>○時間内に教科書やスキル問題が終わった児童には、発展的な学習内容のプリントや学習者用端末を使った課題に取り組みさせる。また、既習を振り返りながら問題作りに取り組みさせる。</p> <p>○課題を解決する際、見通しの段階で、既習事項を明確にしながらか自力解決できるようにする。</p> <p>○文章問題を解く場面では、必要な情報を明確にするためにアンダーラインを活用しながら視覚的に理解できるようにする。また、式の数値は問題文の何に当たるのか確認する。</p>
理科	<p>○基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けさせる指導</p> <p>○条件を制御しながら、観察・実験計画を立案させる指導</p>	<p>○「覚えること」「考えること」を明確にするための発問を工夫する。</p> <p>○映像資料等を活用しながら実験方法を理解し、実際に実験をしながら技能の定着を図る。</p> <p>○単元の終末には、映像資料やプリント学習を行い、知識の定着を図る。</p> <p>○実験結果の予想を立てるとともに、予想の根拠も考えるように指導する。</p> <p>○調べたいことを明確にし、観察・実験条件について表を使って整理させる。</p> <p>○観察・実験計画を立案する際、年間を通して少しずつ個人で考えられるように指導していく。</p> <p>○考察の場面では、観察・実験計画を振り返るように支援する。条件や誤差についても考えられるようにしていく。</p>	<p>○学校で児童ができないような実験は、デジタルコンテンツや、教材提示機を活用し、知識を広げたり関心を深めたりできるようにする。</p> <p>○どうしたら安全面に配慮しながら実験ができるのか考えながら実験に取り組む。</p> <p>○学習者用端末を活用し、他の児童の考えを一覧で見られるようにして、それらを自分の考えに生かせるようにする。</p> <p>○学習したことを生かし、日常生活の場面に生かせるような振り返り場面を設定する。</p>

		<p>○ワークシートや学習者用端末等を活用しながら、本時のねらいが明確に理解できるような教材を提供する。</p>	
音楽	<p>○主体的に音楽に関わり、知識・技能を身に付け、互いの音を聴いて歌唱や演奏することが楽しめるようにするための指導</p> <p>○基礎的能力を高めるための指導</p>	<p>○児童が<u>興味をもって学習できる曲を選び、無理なく知識・技能の習得ができるようにする</u>。また、<u>児童が自らの音や友達の音、伴奏の音などを意識的に聴き、友達と息を合わせて歌唱や演奏をできるようにする</u>。また、<u>児童が自らの歌唱や演奏を振り返る場を設定し、次の学習に生かしているようにする</u>。</p> <p>○ペアやグループグループ活動を取り入れ、<u>児童が自らの考えを言語化し、友達と伝え合う活動を通して、思いや意図をもって演奏できるようにする</u>。</p> <p>○常時活動で歌唱、階名、リズム等の音楽遊びを取り入れ、<u>楽しみながら基礎的な能力を高める</u>。</p>	<p>○児童が主体的に学び、発達段階に合った知識・技能を身に付けられるように難易度に幅をもたせた教材を開発する。</p> <p>○ICT機器を活用し、歌唱や演奏を録画・録音して聴くことで児童が課題を見つけ、既習事項等を使って解決していけるようにする。</p> <p>○グループリーダーを中心に、児童同士で教え合う場を設定し、技術を高められるようにする。また、話し合い活動を通して、児童が思いや意図をもって表現できるようにする。</p> <p>○歌唱や階名、リズム等に興味・関心をもてるように活動内容を充実させる。また、具体物やフラッシュカード等を使用し、基礎基本の定着を図る。</p>
図工	<p>○どの児童も意欲をもって表現活動を楽しむための指導</p> <p>○用具の総復習や計画性を求める題材が増えるので、自分の力で学習を進めていく力を育てる指導</p> <p>○進度差が大きくなる題材など、自分の表現に自信をもって進んで取り組むことができるような支援</p>	<p>○一人一人に作品の良さや課題を話し、意欲を高めていくようにする。</p> <p>○児童のイメージが広がるようにアイデアを紹介し合ったり、作例を提示したりする。</p> <p>○<u>作品がより良くなるポイントを全体指導で周知する</u>。個別のアドバイスや励ましでさらにより良い作品になるように支援する。</p> <p>○製作過程を明示したり、参考例を示したりすることで、確認しながら自信をもって取り組めるようにする。</p>	<p>○より高い技能を知るため、作品例や友達の作品を提示する。</p> <p>○作品を掲示することにより、鑑賞の場を設け次の題材の意欲につなげていく。</p> <p>○自分の見方や感じ方を深めていくために<u>表し方の変化を振り返ったり作品について語り合ったりする機会を増やす</u>。</p> <p>○作品の鑑賞を通して様々な感じ方があることに気づき、互いの良さを発見できるように工夫する。</p>
家庭	<p>○家庭での仕事に関心をもたせる課題と学習内容を関連付けて、知識や技能を身に付けるための指導</p> <p>○家族や自分の家庭生活に生かすことの目的意識を高める指導</p>	<p>○学習したことを家庭で実践できるように課題を出したり、事前の調べ学習をさせたりの反転学習に取り組ませるようにする。</p> <p>○課題を解決するために、学習の見通しをもたせる。持ち物の準備や作業内容を明確にし、計画的に行えるようにする。</p> <p>○よりよい家庭生活を送るために、<u>実生活</u></p>	<p>○技能を身に付けるために、実習授業の協力を保護者へ呼び掛ける。</p> <p>○一人一台の学習者用端末を使い、作り方の動画を確認することで、個人の進度に合わせて実習を行う。</p> <p>○家庭と連携し、児童が実生活の中</p>

		<p><u>を振り返り、課題を見付け、学んだことを生かせるよう、意図的に振り返る場面を設定する。</u></p>	<p>で実践したことへの評価をコメントしてもらう。</p>
<p>体育</p>	<p>○運動の特性に応じた楽しさを一人一人に味わわせ、自己に応じた課題をもって、学習に取り組ませる指導</p> <p>○児童自身が適切に自己評価し、学びを調整できるようにする指導</p>	<p>○<u>単元はじめに自分が今もっている力で運動を楽しめる場を設定する。その学習の中で「できそう」「もっとやりたい」「○○ができるようになりたい」などの課題を見付けられるようにする。</u></p> <p>○自分のなりたい姿に向けて、自身の学習の振り返りが充実するよう、振り返る項目を明確にする。変容や気づきを学習カードに記入させる学びの軌跡をつくるようにする。</p>	<p>○期間を決めて授業時間外にも持久走、なわとびなどに取り組み、目標を設定して日常的に運動できるようにする。</p> <p>○体育の学習を、朝活タイムや休み時間に広げて運動できるよう声掛けをする。</p> <p>○自分のなりたい姿に向けて、動画やカメラ機能等を、自分の必要感に応じて活用できるようにする。</p>
<p>道徳</p>	<p>○他者理解について、話し合い活動の時間を十分にとり、より深めることができる指導</p> <p>○児童自らの生活や経験を振り返りながら、積極的に道徳的価値を考え、深めることができる指導</p>	<p>○価値項目に迫るために、導入発問を工夫したり、精選したりする。</p> <p>○<u>自分自身の考えを整理したり、深めたりするために、振り返る時間を確保する。</u></p> <p>○友達の見聞き、自らの考えの変化に気付けるようにする。</p> <p>○<u>様々な考えに触れられるよう、ペアや小グループを用いた話し合い活動の充実を図る。</u></p> <p>○動作化や役割演技などの表現活動を工夫し、児童の学びを広げる。</p>	<p>○道徳的な意義を実生活につなげていく意識を高めていく。</p> <p>○身近な事象(生活経験・新聞記事・ニュースなど)を取り入れながら学習と結び付けていく。</p> <p>○心の変化が視覚的に分かりやすいように、心情円、視聴覚教材、学習者用端末を活用した授業を行っていく。</p> <p>○授業で学んだことを振り返る時間を設定する。ワークシートをファイリングすることでこれまでの思考を確かめさせる。</p>
<p>外国語</p>	<p>○語彙や表現を言語活動の中で繰り返し想起しながら、活用できる指導。</p> <p>○アルファベットや単語を正しく読んだり聞いたり書いたりすることができる指導</p> <p>○自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝える指導</p>	<p>○<u>ICT 機器やゲーム等を用いて繰り返し練習し、自信をもって積極的にコミュニケーションを図れるようにする。</u></p> <p>○ペアやグループ、ALT と話す活動を設定し、学習したことを表現する機会を設ける。</p> <p>○<u>文字を識別したり、発音したりする活動を行い、十分に慣れ親しませる。活字体を書く時間を取り入れ、英語の罫線を使用して正しく書けるようにする。</u></p> <p>○単元ごとに、習得させたい表現を繰り返し練習させ、必要に応じて活用できるようにする。</p>	<p>○デジタルコンテンツ、絵カードを活用し、英文や英単語の意味をイメージしやすくする。</p> <p>○ノートなどのアルファベット表を日常的に活用できる習慣を付けるようにする。</p> <p>○スピーチの原稿など、書く目的をもたせ、児童の意欲を高める。</p> <p>○既習事項も使い、すすんで伝えることができるようにする。スピーチ等の活動を取り入れ、一人一人がALTとの会話の時間を確実に設けるようにする。</p>

令和6年度 小平市立小平第十二小学校 授業改善推進プラン

【第6学年】

	指導方法の課題	具体的な授業改善策	発展的・補足的な指導計画
国語	<p>○新出漢字や言語事項の定着を図るための指導</p> <p>○読み取り学習では、人物の心情を自分なりに考え、友達と意見を交換しながら自己の読みをさらに深める指導</p> <p>○自分の考えや感じたことについて構成を考えながら書く力を育てる指導</p>	<p>○「言語事項」の定着を図るために、定期的に新出漢字や言語事項の指導を行う。</p> <p>○<u>物語文や説明文の学習において、範読後に言葉の確認の時間を設定する。</u></p> <p>○<u>説明文や物語文の学習において、音読の機会を増やし、内容理解へつなげる。</u></p> <p>○文と文の関係、語句の係り方、語順などを捉え、接続する語句を適切に選択できるようにする。</p> <p>○漢字の小テストを定期的に行い、定着を図る。50問テスト日を予告し、自学を活用してさらなる定着につなげていく。</p> <p>○「読み取り」「書く」の定着を図るために、物語文や説明文の学習において、自分が考えたことや感じたことをノート等に記入する時間を単元の中で十分に確保する。</p> <p>○多くの文章を繰り返し読ませ、優れた表現に触れたり、自分の表現に生かしたりして、語感や言葉の使い方に関する感覚を養わせていく。</p> <p>○<u>見本文を示し、文の構成や文末表現を参考にしながら書き進めることができるようにしていく。</u></p> <p>○事実と感想や意見との関係を十分に捉えて書くようにする。</p> <p>○自分の意見を発表したり、他の人の意見を聞いて自分の考えを深めたりする場面を多く設けるようにする。</p>	<p>○朝の時間を活用して、読書の時間を確保する。</p> <p>○「十二小推薦図書」「読書旬間」「おすすめ本の紹介カード」を活用し、読書活動の充実を図る。</p> <p>○同じ著者の作品紹介をすることで独特な世界観や豊かな表現を味わえるようにする。</p> <p>○学習した構成をもとに、日常的に自分の考えを明確に示すことができるよう、振り返り等の充実を図る。</p>
社会	<p>○社会的事象に関心をもち、自分事として考えたり、自ら課題を作ったりして学習を進めていく指導</p> <p>○教科書や資料集をもとに学習を進める場で、さらに考えを深めさせるための指導</p> <p>○資料の読み取りで、多角的に考え</p>	<p>○社会的事象に対する興味・関心を高められるような資料や本時の学習内容を概観できる資料を提示することで学習の焦点化を図る。</p> <p>○<u>関心のある事象を出し合い、どのような課題を設定していくか共有化する。</u></p> <p>○既習事項を確認する際は、<u>視覚的に分かりやすく提示し</u>、歴史と関連付けさせて、基本となる知識を身に付けさせる。</p> <p>○資料から読み取れる事実だけでなく、分</p>	<p>○調べ学習では、ロイロノートやインターネットを活用するなどして自主的に調べ学習が進められるよう取り組む。</p> <p>○学習者用端末を使い、事前に調べ学習をしたり、関連動画を見たりするなど反転学習を進めていく。</p> <p>○調べて分かったことや考えたこと</p>

	<p>るための指導</p>	<p>かったことや自分の意見をノートにまとめさせるようにする。また、<u>学習の見通しをもちながら、学習問題に対して資料から読み取ったことや考えたことをもとにして、自分なりの意見をもつことができるようにする。</u></p>	<p>を発表し合う場面において思考ツールを用いて整理し、社会的事象について関連付けたり考えを深めたりする。</p>
算数	<p>○数学的活動を通して、すすんで問題解決に取り組む力を育てる指導</p> <p>○四則演算が正確にでき、問題解決に用いることができる指導</p> <p>○数学的活動の楽しさや数学のよさに気付かせるとともに、算数で学んだことを生活や学習に活用できる指導</p>	<p>○課題解決型の授業の中で、児童に見通しをもたせることで自力解決の力を育てる。また、児童に発表させることにより、思考力と表現力を育てる。</p> <p>○<u>線分図や式、言葉を用いて自分の考えをノートに書かせる。そして、伝え合う活動を通して、計算の意味や仕方を考えることができる思考力を育てる。</u></p> <p>○<u>文章題を解くときには、まずその問題で分かっていること、尋ねられていることを整理させる。</u></p> <p>○授業や十二小タイムでスキルやプリント、デジタルコンテンツなどを活用し基礎的な計算問題の繰り返し学習を継続していく。</p>	<p>○復習プリント等を活用して、単元の定着を図るようにする。</p> <p>○十二小タイムや家庭学習を活用して基礎的な四則演算の定着を継続的に図る。</p> <p>○視覚教材を活用することにより、誰でも分かりやすい授業を行うとともに、デジタルコンテンツを利用し反復練習させ、基礎の定着に努める。</p>
理科	<p>○自然事象についての要因や規則性について問題を見いださせる指導</p> <p>○観察、実験を安全に正しく行わせる指導</p> <p>○実験結果を根拠にして考察し、より妥当な考えを結論付けさせる指導</p>	<p>○自然の事物事象との出会いを工夫し、児童の気付きから問題を設定できるようにする。</p> <p>○<u>実験方法を児童と吟味し、適切な条件制御や道具を考えられるようにする。</u></p> <p>○実験器具の正しい使い方を、映像資料を用いながら説明し、正しく扱えるようにする。</p> <p>○<u>考察する視点や話型を示し、児童が問題の答え（結論）を自ら導き出し、自分の考えを表現できるようにする。また、日常生活との関連や新たな疑問等も考えさせる。</u></p> <p>○単元の終末に、学習内容を教科書や学習者用端末を活用しノートにまとめる活動を行い、知識の定着を図る。</p>	<p>○観察、実験の場を多く設定し、個々の児童が実体験できるよう安全面に十分気を付けて工夫する。</p> <p>○学校で児童ができないような観察、実験は、デジタルコンテンツを活用し、知識を広げたり関心を深めたりできるようにする。特に「粒子」や「地球」など目に見えない抽象的な概念の学習では、映像資料やデジタルコンテンツなどのICT機器を多く活用することでイメージしやすくし、理解を深められるようにする。</p>
音楽	<p>○主体的に音楽に関わり、知識・技能を身に付け、互いの音を聴いて歌唱や演奏することが楽しめるようにする指導</p>	<p>○児童が<u>興味をもって学習できる曲を選び、無理なく知識・技能を習得できるようにする。また、児童が自らの音や友達の音、伴奏の音などを意識的に聴き、友達と息を合わせて歌唱や演奏ができるよ</u></p>	<p>○児童が主体的に学び、発達段階に合った技能・知識を付けられるように難易度に幅をもたせた教材を開発する。</p> <p>○ICT機器を活用し、歌唱や演奏</p>

	<p>○曲想と音楽の構造などを生かした表現の工夫を考え、どのように歌唱や演奏するか思いや意図をもって表現することを楽しめるようにする指導</p> <p>○基礎的能力を高めるための指導</p>	<p>うにする。また、<u>児童が自らの歌唱や演奏を振り返る場を設定し、次の学習に生かしていけるようにする。</u></p> <p>○<u>グループ活動を取り入れ、児童同士で教え合える時間を確保する。また、全体での合唱や合奏では他のパート役割を考えて互いに音を聴き合いバランスよく演奏できるようにする。</u></p> <p>○楽曲を聴き、曲想、曲の特徴や歌詞の内容、作曲家の思いなどから、<u>どのように歌唱・演奏していくかについて児童が自分の思いや意図をもてるようにしていく。</u></p> <p>○常時活動で歌唱、リズム、合奏等の音楽遊びを取り入れ、<u>友達と楽しみながら基礎的な能力を高める。</u></p>	<p>を録画・録音して聴くことで児童が課題を見付け、既習事項等を使って解決していけるようにする。</p> <p>○児童の実態に合った練習方法を児童が話し合いながら選択できるようにし、教え合いながら、歌唱や演奏を高められるようにする。</p> <p>○音楽を形づくっている要素を手掛かりに曲を深く理解して、自分たちの合唱や合奏、音楽づくりに生かせるようにする。</p> <p>○歌唱やリズム、合奏等に興味・関心をもてるように活動内容を充実させる。また、具体物やフラッシュカード等も使用し、基礎基本の定着を図る。</p>
<p>図工</p>	<p>○粘り強く制作に取り組むことで自分自身の個性を尊重し、表現することを楽しめるようにする指導</p> <p>○鑑賞の授業を取り入れることで、他者との違いを認め、良さや美しさを感じ取らせる指導</p> <p>○自分のイメージを形にするのに時間のかかる児童への指導</p>	<p>○実演したり、視聴覚機器を用いたりして、視覚的に捉えさせ、基礎的な知識や技能が身に付けられるように指導していく。</p> <p>○一人一人に作品の良さや課題を話し、お互いの意見交換をする場を設け、意欲を高めていくようにする。</p> <p>○<u>完成までのイメージが分かるようにノートに計画をまとめ、制作の流れを意識して進められるようにさせる。</u></p> <p>○これまでに経験した材料や用具を掲示物や画像などから振り返る時間を設定し、既習事項を適切に取り入れられるよう指導する。</p>	<p>○より高い技能を知るため、作品例やともだちの作品を提示する。</p> <p>○作品を掲示することにより、鑑賞の場を設け次の題材の意欲につなげていく。</p> <p>○各々の技能の能力に応じて発展的な活動ができるように予想を立て、それに応じた準備をする。</p> <p>○<u>ともだちの作品の鑑賞を通して自分の良さに気付いたり、制作中に考えたことや感じたことを言葉に書きまとめたりする中で、自らの見方や考え方が深まるようにする。</u></p>
<p>家庭</p>	<p>○自分の生活を振り返り、学習したことを生かして家庭生活をより良くしようとする指導</p> <p>○家庭生活に生かすことの目的意識を高める指導</p>	<p>○<u>実際に見本を見せたり、体験させたり、写真や視聴覚機器の活用をしたりすることにより、より具体的に作業のイメージをもたせるようにする。</u></p> <p>○家庭と連携し、実生活に結びつけて学習の意義を捉えさせる。</p> <p>○実生活を振り返らせ、学んだことをどのように生かしていきたいのかを、ワークシート等を用いて、明確に記す。</p>	<p>○実習は、保護者に積極的に呼びかけ、授業への協力を求めていく。</p> <p>○家庭と連携し、学習したことを家庭で実践する時間を設定していく。また、児童が実生活の中で実践したことへの評価をコメントでもらう。</p>

<p>体育</p>	<p>○いろいろな運動の楽しさや喜びを味わい、すすんで運動を行うことができる指導</p> <p>○児童一人一人が「できる」喜びを味わえる指導</p> <p>○健康で安全な生活を営む意識や理解をもたせる指導</p>	<p>○単元毎に学習カードを活用し、時間毎の自分のめあてを明確にして運動に取り組みさせる。また、一人一人のめあてに合った場や用具の設定をする。</p> <p>○誰もが運動の特性を十分に味わうことができるよう教材・教具を工夫する。また、児童一人一人の伸びをその場で称賛し、達成感を味わわせられるようにする。</p> <p>○<u>自分のもっている力に合わせ、課題を設定し、必要に応じて課題を修正しながら「できた」喜びを味わうことができるようにする。</u></p> <p>○日常生活を振り返り、よりよい生活を送るためにどうすればよいか考え、実践する学習過程を作成する。</p>	<p>○期間を決めて持久走、なわとびなどに取り組み、目標を設定して日常的に運動に取り組みできるようにする。</p> <p>○体育の学習を、休み時間に広げて運動できるよう声掛けをする。</p> <p>○対話的な学びを充実させるために、動きのポイントやコツが分かるように資料を提示する。</p> <p>○学習者用端末を活用し、工夫した動きを撮影したり、大型テレビに映して共有したりする。</p>
<p>道徳</p>	<p>○自己や道徳的価値についての理解を深められる指導</p> <p>○物事を多面的・多角的に考えられるようにする指導</p> <p>○自己の生き方についての考えを深められる指導</p>	<p>○価値項目に迫るために、導入発問を工夫したり登場人物の心情を深く考えられるような発問を精選したりする。</p> <p>○<u>ペアやグループでの対話的な活動を取り入れたり、問い返し発問をしたりして様々な考え方に触れられるようにする。</u></p> <p>○自分自身を振り返る時間を多く設け、自己の生き方についての考えを深められるようにする。</p>	<p>○視聴覚教材を活用し、視覚的に分かりやすい授業を行っていく。</p> <p>○ロイロノートなどの学習者用端末を取り入れることで、多様な意見に触れられるようにする。</p> <p>○道徳的な意義を実生活につなげていく意識を高めていく。</p>
<p>外国語</p>	<p>○身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理したうえで、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする指導</p> <p>○日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができるようにする指導</p>	<p>○チャンツやクイズ、ゲーム等の活動を通して、繰り返し英語の発音に取り組み、スムーズに話すことができるようにする。</p> <p>○発話しやすい環境作りに努め、安心して発話に挑戦できるようにする。</p> <p>○<u>ペアやグループで話す活動を多く設定し、学習した内容を繰り返し表現する機会を設ける。</u></p> <p>○音声だけで情報を捉えるのではなく、イラストや写真などの視覚的な情報も参考にしながら話の概要を捉えられるようにする。</p>	<p>○デジタルコンテンツや絵カードを活用し、英文や英単語の意味をイメージしやすくする。</p> <p>○練習時間を授業内で取ることにより、正しい発音やイントネーション、音声も身に付けられるようにする。</p> <p>○ただ聞き取るだけではなく、活用できる技能も身に付けられるようにする。</p>